



恩二小だより

<http://hachioji-school.ed.jp/ogt2e/>

令和7年(2025年)

7月1日

八王子市立恩方第二小学校

042-651-3700

第4号

いのちの大切さを共に考える

校長 有賀 康美

1学期もあと3週間となり、残された日々で1学期のまとめをしっかり行っていきたくと思っています。また、これからの季節は命にかかわる熱中症が心配です。猛暑の日は外遊びや体育は中止、適切な水分補給と帽子の着用、日陰での休憩など、安全な学校生活を送れるようにしていきたいと思います。ご家庭でもお子様に熱中症対策としての「水分補給」などの指導をお願いします。

さて、八王子市では、いじめ防止教育や不登校問題の一つの取組として、市内の全小中学校で6月から7月にかけて「いのちの大切さを共に考える日」を設け、「いのち」について向き合う取組を行っています。本校でも、7月1日火曜日からの一週間を「いのちを考える週」とし、火曜日を「いのちの日」として全校朝会で私から「いのちの大切さ」についての話をします。各学級でも、道徳や学級指導で「生命の尊さ」や「いのち」について指導を行います。また、本校独自の「ヤマメの里親教室（ヤマメのふ化と飼育、放流活動）」も命の教育の一環です。

時折、子どもの命が事件や事故で失われたニュースを耳にします。その度に本当に悲痛な気持ちになります。何とか救えなかったかと思うと同時に、同じようなことが二度と起きて欲しくないと思います。そのためにも、子どもたちには命の大切さを考えて欲しいと思います。これから大人になっていく子どもたちは、この先いろいろな経験をして成長していきます。時にはつらくて悲しくて、自分がとても不幸だと思ったり、自分が嫌いになって全てをあきらめたくなくなったりすることがあるかもしれません。でも、失敗したり傷ついたりしている自分を立ち直らせ、幸せを作り出していくのは自分自身です。つらくてどうしようもなくなったら、家族や親せき、先生など周りの大人にぜひ相談してほしいと思います。その人が直接今のことを解決できないかもしれませんが、一緒に考えることはできます。子どもたちには、相談することと自分を大好きだと思っている人が必ずいるから、その人を悲しませるようなことがないように伝えたいと思います。

もちろん自分の命とともに他人の命も大切です。その人の命もそれぞれの世界で大切にされ大事にされている命です。そしてそれぞれが一生懸命生きています。そのことも伝えたいと思います。

子どもたちに命の大切さを伝えるのは我々大人の責任です。そんなことは当たり前ののですが、割と平気で「死ね」「消えろ」と言う子どもがいます。面と向かって人には言ってはならない言葉です。また大人でもネットで執拗に「死ね」と書き込んだ人が、犯罪として検挙されていたり、自殺に追い込んだりする事件が起きています。これは言論の自由ではなく人権侵害です。こんな言葉を平気で使う人になって欲しくないと思心から思います。

7月1日からの1週間、ご家庭でも命の大切さや人を傷つける言葉、いじめについて話し合ってもらえればと思います。よろしくお願いします。

7月行事予定

[illegible]